

食安輸発0731第2号
平成27年7月31日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について
(フランス産鶏肉及びその加工品)

標記については、平成27年3月30日付け食安輸発0330第1号（最終改正：平成27年7月29日付け食安輸発0729第1号）により通知したところです。

今般、輸入時のモニタリング検査において、フランス産鶏肉から基準値を超えるナイカルバジンを検出したことから、同通知の別表1のフランスの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
鶏肉及びその加工品（簡易な加工に限る。）		ナイカルバジン	別表2の4によること。	平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。	基準値（0.2ppm）を超えるナイカルバジンが検出されるおそれがあるため。

を追加するので、御了知の上、関係事業者への周知方よろしく申し上げます。

なお、登録検査機関による検査命令の受託体制が整うまでの間は、輸入者に対し自主検査を指導することとし、検査命令の発出を開始する日については、別途連絡することとします。